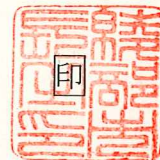


内久井、金河内、坊口集落において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

令和2年12月25日

綾部市長 山崎善也



記

1. 会合の対象とした区域

内久井、金河内、坊口集落

2. 会合の結果を取りまとめた年月日

令和2年12月24日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	3 経営体
集落営農（任意組織）	0 組織

○ 農地の集積面積(概ね5年後の計画)

区域内の農地面積	: 64.6 ha
担い手への集積面積	: 40.7 ha
集積率	: 63 %

4. 地域農業の将来のあり方

個人で管理できなくなった農地の管理組織として設立した志賀郷北部農産に他集落を含めた農地を守る体制強化を図る。

地域の内外を問わず、多様な新規就農を促進する。

京野菜は専業農家の主力野菜とし、一般農家と地域組織が環境に優しい米作りと小豆栽培を中心に行う。